

創つくるる

vol.148

平成28年7月1日発行

Zoom up インタビュー	1
島田労働基準監督署長 和田 久氏	
島田市土木事務所長 石垣 俊幸氏	
志太榛原農林事務所長 黒柳 康江氏	
現場紹介	7
言いたい放題	9
トピックス・防災日誌・協会だより	11



島田労働基準監督署長 和田 久 氏

【略歴】

平成23年4月 浜松労働基準監督署
第一方面主任監督官
平成24年4月 静岡労働局総務部企画室長補佐
平成26年4月 富士労働基準監督署長



インタビュアー（梶山・古川・原・山本）

出身地はどちらですか。趣味もお聞かせください。

三重県は伊勢の生まれ、現在は静岡市に住んでいます。
家族構成は妻と子供2人になります。趣味は読書や旅行、山歩きです。
2人の子供が社会人となり手が離れたので、北海道や東北を中心に国内旅行に出かけてみたいと思います。また、家庭菜園やそば打ちにも挑戦したいと思っています。

プロフィールをお聞かせください。

高校まで伊勢で過ごしましたが、大学は東京になります。
大学では、橋梁を中心とした土木工学を専攻していました。卒業後、昭和60年に当時の労働省に労働基準監督官として入省しました。
その後、東京局の池袋、飯田橋署、長野局の飯田署で勤務し、平成4年に静岡局に異動しました。それからは、主に県内の各監督署を転々とし、今年4月1日、富士署（署長）から島田署に異動しました。
島田署には、平成12年から平成14年の3年間、第一課長として勤務しておりました。
思い出に残っていることはありますか。

以前、島田署に勤務したときは、長嶋ダムが工事終盤、第二東名は最盛期、静岡空港は造成工事に入った頃でした。
当時、管内は工事現場が多く、災害も多かった印象があります。第二東名工事では、隧道現場で切羽の崩壊災害、橋梁の上部工事での墜落災害が発生し、災害調査をした記憶があります。

長野局飯田署のときには、南アルプスの聖岳、赤石岳の山麓での水力発電所の現場があり、泊まり込みで多くの導水路トンネルに入り監督をしました。

今思い返せば、木製矢板の脇から大量の湧水が流出しており、大変な難工事であったことが想像できます。そんな中、大きな災害もなく、工事を完成させた施工関係者には頭を下がる思いでした。

このように、苦勞して完成させた構造物が残るのが建設業の魅力ですね。

建設業者に望むことはありますか。

現在、県内建設関連の災害発生状況は、減少傾向にあります。
平成27年は430件でしたが、前年に比べ82件減少しています。
島田署管内についても、平成27年は57件で前年に比べ若干ですが、2件減少しました。リーマンショック前の平成19年と比べると、島田署管内では57件と半減しています。
これは、工事が減少したのも要因ですが、建災防の指導員さんの熱心なパトロール、防止活動の成果であると思います。
今後、継続していただいて、各会社間の垣根を越えて若い指導者を育てていただいて、現場での災害防止活動につなげていってほしいと思います。

行政の重点課題を教えてください。

業種に関係なく転倒災害と交通労働災害の防止、さらに建設業では墜落転落災害の防止が重点です。
建設現場で働く労働者の高齢化が進んでいます。年齢とともに体が硬く、骨が弱くなっています。少しの段差につまずいて転

倒し、打撲やねん挫かと思ったら、実は骨折で休業が長引くといった災害が多くみられます。

転倒災害の防止は現場内の4S運動（整理、整頓、掃除、清掃）が基本です。

そのような意識で現場を管理していただき、防止につなげてほしいと思います。

次に、時間外労働が月80時間オーバーは過労死の認定レベルになりますが、このような過重労働を少しでも削減させたいと思います。

安倍総理は、働き方改革を発信しておりますが、月80時間以上を超える時間外労働の削減、過重労働の防止は最重要課題です。時間外労働が多くなるのは、現場を管理する監督さんや、設計、営業の方だと思います。

過重労働にならないように適切に労働時間を管理していただくようお願いしたいと考えております。



インタビュー Zoom



島田土木事務所長

石垣 俊幸 氏

【略歴】

平成23年4月 掛川市役所都市建設部付参与
平成25年4月 交通基盤部河川砂防局
河川海岸整備課長
平成28年4月 島田土木事務所所長

インタビュアー（梶山・山本・中林・古川・大場）

出身地や略歴などを教えてください。

出身は静岡市清水区、興津川の上流で両河内茶が有名な地域になります。

中学までは野球部に所属し、高校・大学はラグビー部でポジションはフルバックでした。

昨年9月の南アフリカ戦は、興奮しながらテレビ観戦しましたが、さらに、五郎丸ブームでラグビー人気盛り上がり、大変嬉しく思いました。

また、2年前まで静岡県ラグビーフットボール協会の役員をしており、トップリーグのヤマハ発動機ジュビロのホームゲームでは、トップリーグのホームページにリアルタイムでスコアを記録する事務を10年程度行いました。大学（金沢大学土木工学科）卒業後に県庁に入りましたが、4年の時休育会系のラグビー部のキャプテンをしていたので、大手民間企業からのオファーもありましたが、長男だったこともあり静岡に戻って来ました。

入庁した時の配属は、草薙運動場近くの区画整理事務所で、当時の静岡市と清水市にまたがっていたため、県と静岡市、清水市の3者合同の事務所でした。40歳になって初めて県庁内の勤務になりました。それからは河川砂防局や技術管理課などを経て、平成23～24年度掛川市役所へ出向、その後平成25から平成27年度まで河川海岸整備課長でした。

島田土木事務所勤務は初めてになります。管内4市2町がまとまり、仕事がしやすい環境だと感じました。

休日はどう過ごされていますか？

今は主にテニスと自転車を楽しんでます。

最近の出来事では、掛川市役所に出向していたご縁で、4月23・24日に中東遠5市1町の観光協会が主催した「ゆるゆる遠州ガイドライド2016（春）」にガイドスタップとして参加しました。

これは、1コース20～30人で、車では行けない地元の人達しか知らないようなコースを辿って、ロードサイクリングするというツアーイベントです。

私の担当したコースは、掛川市役所から御前崎灯台やなぶら市場へ行く往復約95kmで、気持ちよく走って来ました。

今年度の重点方針や、建設業界に期待することなどありましたらお聞かせ下さい。

当管内地域住民の安全で安心できる暮らしを守るため、国道473号金谷相良道路Ⅱ倉沢IC～菊川IC事業のほか、県道静岡焼津線の災害復旧事業のトンネル工事、国道362号青部バイパスのトンネル工事などの道路整備事業を推進し、ネットワーク網の充実を図っていきます。また、地震津波対策では、相良須々木海岸の堤防工事などの事業を、速やかに進めたいと思います。

静岡県の公共工事の事業費は平成10年度頃をピークに減少していることから、建設業界も厳しい時代であると感じています。しかし、台風や地震の災害等が発生した場合、現場に真っ先に駆けつけてもらう建設業の皆さんには、地域の安全を守るという危機管理と直結しているので、元気になる

てもらいたいと思います。そのためには発注者ができること、例えば債務負担行為の積極的な活用などにより発注・施工時期等々の平準化を進めるなど、働きやすい環境づくりを実践するが重要だと考えております。そして我々と建設業の皆さんが協力し合って未来につながる地域づくりを進めていきたいと思っています。当所の若手職員にも、工事現場に頻繁に行って、現場の監督さんといろんな話をするように伝えますので、ご指導よろしくお願いします。今後とも、発注者と受注者が情報を共有して、限られた予算の中で、お互いが知恵を出し合いながら、品質確保に努めていきたいと考えております。



志太榛原農林事務所長

黒柳 康江 氏

【略歴】

平成24年4月 経済産業部農林業局技監
平成25年4月 経済産業部振興局マーケティング推進課長
平成28年4月 志太榛原農林事務所所長



プロフィールをお聞かせください

磐田市出身で、住まいも磐田です。生活改良普及員として入職、農家生活の改善に取組みました。その後、農家の経営指導や農村女性の起業支援、担い手育成のほか、ニューファーマーの育成や企業の農業参入などにも取組みました。企業の農業参入は、当初は要件も厳しかったのですが、法改正でハードルも低くなり、参入件数は増えていきます。成功の鍵は、販路の確保だと思います。建設業界から参入して活躍される事例も出ています。

趣味は山登り。近隣の低山や、アクセスが容易な北アルプスを多く登っていますが、豊かな自然が残り、懐が深い南アルプスは、魅力的だと思います。

最近の関心事は？

まずは、熊本の地震です。未だに余震も多く、田畑の地割れや農業用施設の損壊、山の斜面崩壊などもあり、復旧復興にはまだ時間が掛かると思います。静岡県も地震については以前から指摘されていますが、改めて災害への備えの必要性を感じました。私どもの農業土木の職員も現地に行つて復旧の支援をしておりますが、その経験を今後の危機管理などの面で活かしていきたいと思っています。

もう一つは、TPPです。国会での承認や大統領選挙を抱えた米国の動きなど注視しなければなりません。いづれにせよ「競争力のある農業への転換」は急務です。

いままでの「ご担当」での思い出は？

前職はマーケティング推進課におりました。少しPRになりますが、実は、本県は、生産される農林水産物は439品目で、全国的

みても大変豊富で、「食材の王国」です。県では、平成22年度から、国内外の方々を惹きつけ、憧れを集めるふじのくに「食の都」づくりを推進してまいりました。優れた農林水産物を「しずおか食セレクション」として認定し、販路開拓などを支援してきました。首都圏に近く、静岡ブランドの情報発信が疎かだったなどの課題もあります。しかし、食生活が本場に豊かで、それが、本県の健康長寿日本を支える要因の一つでもあるとも考えられますし、お茶の効能もあると思います。もつと県民の皆さんに地元の良さを知らせてもらうと共に、全国発信していきたいと思っています。

日本の農産物の安全性・品質は、海外が認めているところです。インバウンド客に本県の食材を知っていただく努力が必要だと思います。また、海外に売込む事も重要です。海外バイヤーと県内事業者とのマッチングの機会も提供していますが、輸出向けに生産を拡大する動きも出ており、地域を巻き込み、農業の活性化につながればと思います。日本食が海外で注目されていることを、本県農業にとつて追い風として活かしていきたいと思っています。

これからの取組みをお聞かせください。

先ずお茶の振興です。地域の特性を活かして、きめ細かな戦略で進めて行きたいと思っています。南部牧之原は、法人化と農地集積を進め、経営体質を強化する。中部は、有機栽培茶や碾茶など、輸出を視野に入れた売れるお茶づくりを。北部川根は、恵まれた景観を活かして、観光とお茶の魅力のパッケージとして商品化して情報発信していきたいと考えています。

茶業のみならず、農地中間管理機構という仕組みを活用して、農地集積を進め、作業効

率・生産性を高め、農業の担い手を確保することに繋げていきたい。その点では、基盤整備が重要だと思います。林業においては、管内の人工林の8割が伐採時期を迎えていますので、木材の増産を促進していきたいと思えます。「FSC森林認定制度」なども周知し、認証取得も進めたいと思います。

建設業界について望む事は？

農林業の発展には、農地整備・森林整備などの基盤整備は重要で、森林の公益的機能維持には、「国土を守る」治山事業も不可欠です。建設業界の皆様には、大変ご尽力いただいております。これからも質の良い事業を行つて、農林業の発展にお力をいただきたいと思えます。私どもの予算には限りがありますが、その中で、選択と集中がポイントになると思います。

今後とも、ご理解とご協力をお願いします。



平成28年度定時総会を開催 新会長に橋本氏

(一社)島田建設業協会及び建災防島田分会並びに島田地区建設事業協同組合は、5月17日に島田建設業会館会議室において、和田久島田労働基準監督署長、石垣俊幸島田土木事務所長及び黒柳康江志太榛原農林事務所長を来賓としてお招きして、平成28年度定時総会を開催しました。

冒頭木村紘一会長は、熊本地震により多くの被害に遭われた方々への哀悼の意を表した。

続いて、「私たち建設業界は住民生活の安全等に大きな役割を担うが、長年の競争激化や若年技能者などが減少し、災害復旧への対応等に支障が懸念される。当協会管内では、静岡空港の開港、新東名や国道473号バイパスの開通など大型プロジェクトが次々と完成してきた。今後は、これらを結ぶ金谷御前崎連絡道路の早期開通や大規模地震による津波への対策である防潮堤の整備など、この地域の産業振興や災害への備えとしても、期待したい」と挨拶しました。

この後議案審議に入り、(一社)島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の事業報告と収支決算報告並びに協会と事業協同組合の役員任期満了に伴う理事及び監事の選任案が上程され、審議の結果、すべての議案が全会一致で承認されました。

また、新たな正副会長を理事会で選考し、新会長に橋本勝策氏、副会長に朝倉純夫氏(再任)、大石卯吉氏(再任)、山田壽久氏(新任)がそれぞれ選任されました。

総会終了後、平成28年度全国建設業協会会長表彰、静岡県建設業協会会長等を受賞された方々の紹介と記念品を授与し、栄誉を称えました。

また、本年7月の参議院議員選挙に向け、候補者であります足立としゆき氏と岩井茂樹氏(お二人の代理人として岩田氏)へ推薦状が手渡されました。



橋本会長 就任挨拶

このたび、一般社団法人 島田建設業協会の会長に就任いたしました橋本勝策です。

朝倉純夫副会長、大石卯吉副会長、また、新たに副会長に就任されました山田壽久理事の3人の副会長に協会運営をご相談しながら、役員の皆様、さらに会員皆様のご協力のもと、協会のより一層の発展に努めていきたいと存じます。

今年4月、熊本地震が発生し甚大な被害が出ておりますが、近年は地震や台風など自然災害が頻発し、防災やインフラ整備等の必要性や重要性が改めて認識されるところとなっております。

また、災害時には、建設企業が復旧活動に大きな役割を持つなど、地域の安全・安心の確保、さらには地域経済を支える役割も担っております。



しかしながら、建設業界は長年にわたる公共投資の縮減や価格競争の激化などにより、企業経営を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。

このような中であって、私たち建設産業は、これら防災や災害復旧など社会的使命を担っていることを胸に刻みつつ、社会基盤の整備等を通じて、住民の快適で住みやすい生活環境の改善に資するよう尽力してまいりたいと思えます。

そして、これらの私たちの取り組みが、若者にとって魅力溢れる産業として広く認識され、次の時代に向け、さらに発展していく力となることを、心から望むところであります。

結びに、当協会が、公益的な活動を通じて、地域に貢献するとともに、会員の皆様にとって、有益となる活動をさらに推進してまいりますので、今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 島田建設業協会 新役員紹介

役員の任期満了に伴い、平成28年5月17日の定時総会において、(一社)島田建設業協会、建災防島田分会及び島田地区建設事業協同組合の役員が選任されたので紹介いたします。



会長 橋本勝策
(株)橋本組



副会長 朝倉純夫
大河原建設(株)



副会長 大石外吉
大石建設(株)



副会長 山田壽久
(株)山田組



理事 岡村延昌
岡村建設工業(株)



理事 古川賢吾
フルカワクリエイト(株)



理事 山本利彦
(株)グロージオ



理事 紅林眞之
(株)丸 紅



理事 山岸 豊
山岸建設(株)



理事 原 廣太郎
(株)原小組



理事 梶山 基
(株)梶山組



理事 菊池松巳
(株)柳澤組



理事 木村紘一
(株)木村組



理事 鈴木 徹
(株)鈴木土建



理事 増田雄也
相良建設(株)



監事 村松章典
(株)丸川組



監事 落合直人
(株)金谷工務店



監事 飯田忠史
カネ正建設(株)



専務理事 伊久美進一
事務局長

(一社) 島田建設業協会委員会委員名簿

任期：平成28年5月17日～平成30年5月定時総会

委員会名	総務委員会	広報委員会	労務委員会	土木・建築委員会	環境・災害対策委員会	安全委員会	建設業労働災害防止協会
							防災委員会
県協会役員		梶山 基 (株)梶山組	大石 卯吉 大石建設(株)		山田 壽久 (株)山田組		常任幹事 山本 利彦 (株)グロージオ
担当副会長	朝倉 純夫 大河原建設(株)	大石 卯吉 大石建設(株)	大石 卯吉 大石建設(株)	朝倉 純夫 大河原建設(株)	山田 壽久 (株)山田組	山田 壽久 (株)山田組	
委員長	原 廣太郎 (株)原小組	梶山 基 (株)梶山組	大石 卯吉 大石建設(株)	朝倉 純夫 大河原建設(株)	山田 壽久 (株)山田組	山本 利彦 (株)グロージオ	山本 利彦 (株)グロージオ
副委員	山岸 豊 山岸建設(株)	古川 賢吾 フルカワケイ(株)	本橋 孝洋 本橋建設(株)	村松 章典 (株)丸川組	鈴木 徹 (株)鈴木土建	落合 直人 (株)金谷工務店	落合 直人 (株)金谷工務店
委員	橋本 勝策 (株)橋本組	八木 利寛 佐藤建設(株)	橋本 和記 (株)橋本組	橋本 勝策 (株)橋本組	木村 昭生 (株)原川土木	清水 祐輔 (株)橋本組	清水 祐輔 (株)橋本組
〃	岡村 延昌 岡村建設工業(株)	足立 藤夫 (株)山田組	鈴木 潔 (株)山田組	山田 壽久 (株)山田組	園田 晴義 (株)園田工務店	植田 優 木下建設工業(株)	植田 優 木下建設工業(株)
〃	山田 壽久 (株)山田組	山本 利彦 (株)グロージオ	中村 寿之 角丸建設(株)	山本 利彦 (株)グロージオ	箸 正直 (株)グロージオ	落合 俊夫 (株)原川土木	落合 俊夫 (株)原川土木
〃	村松 章典 (株)丸川組	大場 祐一郎 (株)エコワーク	紅林 眞之 (株)丸紅	市川 哲男 (株)小沢組	天王沢 雄之 池村建設(株)	大石 徹 (株)山田組	大石 徹 (株)山田組
〃	朝倉 純夫 大河原建設(株)	中林 功德 (株)中林建設	伊藤 干城 (株)鈴竹	池田 豊 大井建設(株)	下田 晴久 (株)特種東海フォレスト	石川 三千雄 (株)杉山工務店	石川 三千雄 (株)杉山工務店
〃	大石 卯吉 大石建設(株)	原 王彦 (株)原小組	鈴木 淳二 徳山建設(株)	茂川 雅裕 マルキ建設(株)	八木 勇 (株)八木建設	前市岡 利宏 (株)丸川組	前市岡 利宏 (株)丸川組
〃	飯田 忠史 カネ正建設(株)	三村 秀雄 三村建設(株)	神田 優一 (株)神田組	増田 雄也 相良建設(株)	桜井 保 大石建設(株)	青島 利浩 大河原建設(株)	青島 利浩 大河原建設(株)
〃	木村 紘一 (株)木村組	大石 健仁 大石建設(株)		小塚 辰巳 小塚建設(株)		大河原 高広 (株)エコワーク	大河原 高広 (株)エコワーク
〃	菊池 松巳 (株)柳澤組	辻川 喜弘 (株)木村組				田崎 和美 (株)田崎組	田崎 和美 (株)田崎組
〃		植田 進 (株)加藤組				紅林 昌生 (株)加藤組	紅林 昌生 (株)加藤組
〃						増田 幹 相良建設(株)	増田 幹 相良建設(株)
〃						八木 保之 共和建設(株)	八木 保之 共和建設(株)
〃						鈴木 文昌 徳山建設(株)	鈴木 文昌 徳山建設(株)
〃						菊池 寛 (株)柳澤組	菊池 寛 (株)柳澤組
	11名	12名	9名	10名	9名	16名	16名



完成



着手前



施工状況

コメント

本工事は住宅地の中の公園を利用した避難タワーの設置工事です。住宅地のため特に振動、騒音の発生を最小限として施工しました。隣接する住民には工程等を詳細に説明して理解を得ることができ、無事故にて工事完了しました。

工事名 平成25年度都市防災総合推進事業
津波避難タワー I ブロック設置工事
工事箇所 牧之原市細江地内
工期 平成26年9月19日～平成27年3月20日
施工者 株式会社 木村組
発注者 牧之原市
現場代理人 平山浩之
工事概要 避難タワー

延べ面積	1基
P H C 杭 径600	247㎡
5m	24本

現場紹介



完成



着手前



施工状況

コメント

車線を拡幅する事により、交差点での渋滞緩和を目的にした工事です。工事中は施工ペースが限られ、車道を規制しての作業でしたが、地元の協力で現場近くにストックヤードを確保でき、完成する事が出来ました。

工事名 平成27年度(主)島田川根線安全・安心緊急
道路対策事業(交通安全)工事(交差点改良)
工事箇所 島田市相賀地内
工期 平成27年9月30日～平成28年5月16日
施工者 興和建设株式会社
発注者 静岡県島田土木事務所
現場代理人 外村博昭
工事概要 交差点改良工事

プレキャスト張出歩道	110m
L型側溝	160m
透水性アスファルト舗装	167㎡

着手前



工事名 平成26年度(国)473号防災・安全交付金(国道道路改築)工事(道路拡幅工)
平成27年度(国)473号特定施設関連道路整備事業工事(軽量盛土工)

工事箇所 島田市神尾地内
工期 平成26年12月26日～平成28年2月20日
平成27年9月16日～平成28年3月15日

施工者 山岸建設株式会社
発注者 静岡県島田土木事務所
現場代理人 森中克彦・山岸浩幸

工事概要 H鋼場所打ち杭工 13本
鉄筋挿入工 36本
アンカー工 6本
ウレタン発泡工(R-PUR工法) 220㎡
舗装工 125㎡

完成



施工状況

コメント

本工事は(国)473号線(居林～神尾間)の拡幅工事です。現場は山間部の急傾斜地で、24時間の交通規制を行いました。通行車両や作業員の安全対策、早期完了させる為の工程管理に特に注意を払いました。

安心・安全な暮らしのために…

着手前



工事名 平成27年度瀬戸川支川梅田川津波対策緊急整備事業(海岸)工事(水門避難用階段設置工)

工事箇所 焼津市八楠地内
工期 平成27年9月30日～平成28年3月15日

施工者 岡村建設工業株式会社
発注者 静岡県島田土木事務所
現場代理人 池谷満弘

工事概要 避難用階段設置 1式
誘導標識設置 1式

完成



施工状況

コメント

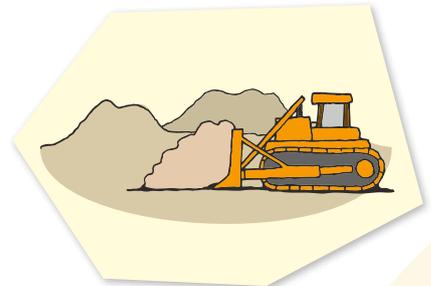
梅田川水門に避難用階段を設置する工事です。普段はランドゴルフを楽しむ地元の方々の休憩場所を施工ヤードにせざるを得ませんでしたが、快く承諾していただき、無事故で完了することが出来ました。



言いたい放題

道路改良工事の最近の状況

最近の道路工事は、通常の場合道路交通規制を提出すると、警察署での規制時間は、昼間の場合通勤帯の時間を除いて、8:30～16:30として時間の制約がある。路上での作業も同様に8:30以降で16:30以内となりこの時間を超えないよう工事を行うには特に午後の終了時刻に配慮するためどうしても、終了時間が早くなりがちで、現場作業での実労働時間は、実質7時間から6時間半程度となり、作業効率が悪く実質利益も少ない。それに加え道路工事では規制標識類や赤色点滅灯を設置して工事を行う。その為、特に冬場では、赤色点滅灯が盗難に有ったり、工事の起終点を工事区間が分かるように置く道路照明等も盗難に有ったりする。赤色点滅灯がソーラー電池の場合1,500円～2,000円程度、ある現場では2月で20個ほど盗難に有ったりした。発注者も道路改良工事の諸経費を公園工事より上がるよう考慮を！！



暑い夏を乗り切る

いよいよ暑い夏を迎えました。防災委員の一人として一言。
厚生労働省のまとめでは、昨年1年間の建設業における熱中症による死傷者数は113人（うち死亡者数11人）、前年に比べ死傷者数は31人減少したが、逆に死亡者は5人増という結果だったそうです。

昨年の夏は、地球温暖化の為か、真夏日や猛暑日が何日も続いた事を覚えていると思いますが、今年はそれ以上の暑い日が続くといわれています。各社共熱中症対策には万全を期すようお願いいたします。なかでも、作業員や職長さんの体調や作業環境の管理が重要になってきます。現場の状況に合わせた対策を講じてほしいと思います。作業工程での工夫や後頭部の冷却、塩分、水分の補給など、会社側のサポートも大きな要素となります。また万一、疑わしい症状が出たときは、意識の確認をすると同時に涼しい環境への避難や、脱衣、冷却、塩分、水分の摂取等をし、症状に応じて対処し、その上で、医師の診断を受けさせるなど、適切な措置を行って下さい。全員でしっかり取り組み、仲間からの発症を防ぎ、暑い暑い夏を乗り切りましょう。



意識

“意識する”とは何か。

人は何かをやる時、どうやってやるか・何が必要か・いつやるか等々、その方法について考え実行すると思います。方法を考えなかったら実行出来ませんよね？では、それをさらに掘り下げ、「何かをやる時」に至った経緯はどうだったのか。自分からやる時と考えた・人から頼まれて考えた・上司に命令され考えたetc…。その理由も様々だと思えます。「何かをやる時」って、人が生活していればその連続なんです。毎日毎日その事を行って生きているんです。

今年の夏も暑くなると言われていますが、ここ数年夏のnewsでは熱中症の事を取り上げていました。「今日も暑くなりますので熱中症には万全の対策を！」なんて言葉を各メディアから毎日のように聞いた時期に時を同じくして「全国各地で熱中症とみられる症状で200人が救急搬送」とも報道されていました。救急搬送されない軽微な熱中症の人を数えれば何人になるのか。この人達は熱中症に注意という報道を知らなかったのでしょうか？お年寄り等、中には知らない方も居るかもしれませんが、ほとんどの方は耳にしているはずですよ。

それでも救急搬送されてしまう…。

何故だと思います？

対策の方法を知らない・自分は大丈夫と過信している・対策できる状況になかった。いろいろ理由はあると思いますが、報道から聞こえてくる「注意して下さい」に対して、ひとごとなんです。注意してないんです。要は“意識”していない。意識すれば何か考えますよね。考えれば行動しますよね。前述した「何かをやる時」事と同じなんです。人が毎日繰り返し行っている行動と同じなんです。誰も皆やれば出来るんです。

何に関しても「意識する人」と「意識しない人」では、大きな差が生まれます。その差が、ポテンシャルとして評価されることもあります。何をやるにも“意識”していきましょう。

ゆとり社会・男女平等

ゆとりある経営を強いられ、男女平等雇用参画を強いられ、「男の職場は」どうなってしまったのだろうか。炎天下、厳寒時。危険と紙一重の職場で、ゆとりをもって、男女平等に仕事ができるだろうか？

特に舗装工事等は、夜間作業が多くなってきました。よる夜中わが子を家において、母親が働けますか。極端な例ですが、無理です。

ゆとりもそうです。月給雇用の少ない末端作業員の場合、日曜、祝日に休んで、雨降りに休んでいたら食っていきません。

公務員と一般労働者とのハンデは、世の仕組みを決める役人には想像つかない世界だと思います。

ゆとりと、平等の前に私たち3Kの男の職場を、体験して見てください。

無事故無災害を願って!!

安全祈願祭を開催

建災防島田分会は、4月22日に島田市の「大井神社」において、安全祈願祭を開催しました。

当日は、お招きした島田労働基準監督署長や島田土木事務所長をはじめとする県の出先機関の所長等とともに分会役員及び防災委員など約50名が1年間の無事故無災害を祈願しました。



交通事故死ゼロを

目指して!!

平成28年「春の交通安全運動」が4月6日から15日までの10日間実施されました。

当協会も地域と連携してこの運動に継続的に取り組むこととしており、今回も多数の会員が、運動期間中子供達の通学路等へ立ち、交通安全を呼びかけました。

参加会員数・人数
10社 述べ365人
活動内容
交通安全のぼり旗の掲示、通学路・交差点での立哨等。



全国建設業協会会長表彰・静岡県建設業協会会長表彰等を

多数の会員がめでたく受賞

永年にわたり建設業の発展に寄与した会社または個人を表彰する（一社）全国建設業協会会長表彰をはじめとする各種建設業団体の表彰式が開催され、当協会から多数の会社及び個人が受賞しました。

（一社）全国建設業協会会長賞表彰

2社4名受賞

- ・表彰規程2条3号 増田義明（相良建設（株））
- ・表彰規程2条4号 加藤隆（株）加藤組
- ・表彰規程4条1号 藤原組
- ・表彰規程4条3号 松野護（大河原建設（株））
- ・表彰規程5条 森下扶美枝（大石建設（株））

（一社）静岡県建設業協会会長賞表彰

1社12名受賞

- ・表彰規程2条2号 橋本勝策（株）橋本組、原廣太郎（株）原小組
- ・表彰規程2条3号 大石外吉（大石建設（株））、山本利彦（株）グロージオ
- ・表彰規程2条4号 池田豊（大井建設（株））、小塚辰巳（小塚建設（株））、神田優一（株）神田組
- ・表彰規程4条1号 株）ケンコー
- ・表彰規程4条5号 牧野敏之（株）橋本組、堀本充啓（大河原建設（株））
- ・表彰規程5条 岩崎保美（株）グロージオ、仁科守（株）中林建設、平松泰久（株）特種東海フォレスト

第32回（一社）静岡県建設業協会建設もの創り大賞表彰 3社受賞
土木部門

- ・最優秀賞 株）山田組
- ・平成25年度第1号静岡葦科川橋拡幅床版工事 特別賞 株）橋本組
- ・平成26年度駿河海岸焼津工区養浜工事 優良賞 株）グロージオ
- ・平成25年度市道0110・1号線黒瀬川耐震補強工事

（一社）全国中小建設業協会会長表彰
建設業振興功労 橋本勝策（株）橋本組

（一社）静岡県建設業団体連合会会長表彰 1名受賞
表彰状1 山田壽久（株）山田組



災防日誌

災害防止への取り組み



チェックリストの活用

弊社で使用している建設現場パトロールチェックリストは書類関係から現場の状況に至るまで項目別に点検できるように作成されています。これは、限られた時間の中で適切に現場を点検できるメリットがあります。

しかしながら、項目に頼るあまり、不安全な個所を見落とす恐れがあるのも事実です。今年の安全週間のスローガン『見えますか？あなたのまわりの見えない危険、みんなで見つける安全管理』のとおり、どこに危険が潜んでいるかをみんなで見つけて、摘み取ることが大切です。

安全にこれで良しはありません。日々変化する現場の作業状況に合わせた安全対策が不可欠です。これらを意識して現場監督は、事前の対策を構築することが大切です。

又、指摘改善指導だけではなく、良い点（ストロングポイント）を挙げて、水平展開することが大事です。一件でも事故を減らし、より良い建設現場にするように、パトロール活動を続けます。

ご安全に！！



これからの建設業

最近、よく目にしたり、耳にしたる情報で「iConstruction」と「女性が活躍できる建設業」があります。「iConstruction」とは、我が国において生産年齢人口が減少することが予想されている中、建設分野においても、生産性低下は避けられないという課題に対してICT技術を全面的に活用して、建設現場における生産性を向上させ、安全性を確保する取り組みです。2つ目の「女性が活躍できる建設業」とは、男女の分け隔てなく、意欲ある人材の確保と、男女問わず誰もが働きやすい環境にして、建設業が性別・世代を問わずさらに魅力的な産業となり、担い手確保に向けた原動力とする取り組みです。どちらも、建設業界にとっても重要なことですが、それを担うのは我々の様な地方の中小の建設業者です。まずは、その中小建設業者が持続可能な経営が出来る仕組みを考えていくことが必要ではないでしょうか。

(K・F)



島田工業高校生徒現場研修 (技士会、土木・建築委員会共催)

高校生に「土木・建築」の魅力を感じてもらい、建設業の必要性の理解促進と技術の継承を目的に開催しました。

開催日 平成28年5月26日(木)

見学先 中部横断自動車道工事現場

内容 現場見学、高速道路建設について、意見交換会

参加者 島田工業高校都市工学科3年生34人、教師3人、技士会8人

協会だより ～協会のうごき～



- 総会
 - 通常総会 5月17日(火)当協会 出席者数54名
- 理事会
 - 第1回理事会 4月22日(金)当協会
 - ・総会議案の審議(協会・防災・組合)
 - ・任期満了に伴う理事及び監事の選任について
 - ・参議院議員選挙・足立としゆき候補者及び岩井茂樹候補者の推薦について
 - ・一般県道静岡空港線の美化活動について
 - 第2回理事会 5月17日(火)当協会
 - ・正副会長及び専務理事の選任について
 - 第3回理事会 5月17日(火)当協会
 - ・志太榛原農林事務所との意見交換会の開催について
- 監査
 - 平成27年度監査(協会、分会、組合) 4月18日(月)当協会
- 正副会長会議
 - 第1回会議 4月22日(金)当協会
 - ・第1回理事会提出議案について
 - ・安全祈願祭の開催について
 - 第2回会議 5月17日(火)当協会
 - ・総会提出議案について
 - ・第2回及び第3回理事会提出議案について
 - 第3回会議 5月23日(月)当協会
 - ・官公庁挨拶回りについて
- 広報委員会
 - 第1回委員会 4月8日(金)当協会
 - ・広報誌VOL.148号の企画
 - 広報誌VOL.148号取材4月26日(火)島田労働基準監督署長インタビュー
 - 広報誌VOL.148号取材4月27日(水)島田土木事務所長インタビュー
 - 広報誌VOL.148号取材4月28日(木)志太榛原農林事志太榛原農林事務所長インタビュー
 - 第2回委員会 6月3日(金)当協会
 - ・広報誌VOL.148号の校正
 - 第3回委員会 6月10日(金)当協会
 - ・広報誌VOL.148号の校正
 - 第4回委員会 6月17日(金)当協会
 - ・広報誌VOL.148号の最終校正
- 労務委員会
 - 第1回委員会 5月26日(木)当協会
 - ・親子現場見学会について
- 環境・災害対策委員会
 - 災害対策用機械操作訓練(国土交通省静岡国道事務所・静岡河川事務所主催)
 - ・5月30日(月) 安倍川左岸河川敷(静岡市葵区与一五丁目

- 地先)
 - 排水ポンプ車実働操作訓練(静岡河川事務所主催)
 - ・6月8日(水) 大井川左岸河川敷(島田市南町スポーツ広場下流側)
- 建防災島田分会
 - 安全祈願祭 4月22日(金)10:00～
 - ・国・県関係機関、分会役員、安全指導者が出席
 - 安全パトロール
 - ・第1回 4月22日(金)5地区
 - ・第2回 5月20日(金)5地区
 - 防災委員会(安全委員会)
 - ・第1回 5月20日(金)当協会
 - 委員会年間事業計画について
 - 平成28年度支部長安全表彰受賞候補者の推薦について
 - 平成28年度安全指導者研修会の実施について
 - 島田地区建設業労働災害防止安全大会の開催について
 - 安全標語の募集について
 - 平成27年度無災害団体の支部長表彰について
 - 地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習会及び試験
 - ・6月6日(月)～8日(水) 当協会 受講者26名
 - 足場の組立て等作業主任者技能講習会及び試験
 - ・6月14日(火)～15日(水) 当協会 受講者58名
 - 型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習会及び試験
 - ・6月21日(火)～22日(水) 当協会 受講者32名
- 今後の予定
 - ・島田地区建設業労働災害防止安全大会
 - 日時 平成28年7月5日(火)13:00～
 - 場所 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
 - ・平成28年度 静岡県交通基盤部優良工事等表彰(部長表彰)並びに土木技術者研修会
 - 日時 平成28年7月27日(水)13:30～
 - 場所 県男女共同参画センター あざれあ
 - ・親子現場見学会
 - 日時 平成28年8月3日(水)8:00～17:00
 - 場所 吉田町川尻(平成27年度吉田公園社会資本整備総合交付金(公園・安全安心)工事(盛土工))
 - ・平成28年度静岡県交通基盤部優良工事等表彰(所長表彰)並びに土木技術者研修会
 - 日時 平成28年8月5日(金)13:30～
 - 場所 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
 - ・第18回大井川「川まつり」
 - 日時 平成28年8月19日(金)10:00～16:00
 - 場所 島田市民総合施設「プラザおおるり」
 - 問合先 静岡県島田土木事務所



講習の種類	地山掘削及び土止め支保工作業主任者講習	足場の組立て等作業主任者講習	型枠支保工の組立て等作業主任者講習
開催日	6月6～8日	6月14・15日	6月21・22日
会場	島田建設業会館	島田建設業会館	島田建設業会館
受講者数	26名	58名	32名

建防災島田分会は、建設業労働災害防止に向けて、従事者の知識を深めるとともに資格取得を促進するため各種の講習会を開催しました。

**労働災害防止に向けて
各種講習会を開催**

【表紙解説】 坂本竜馬を斬った男 今井信郎屋敷跡(島田市初倉)

慶応3年(1867年)、今井信郎は京都見廻り組の一員として竜馬暗殺を実行した。有名な近江屋事件である。その後、近江屋事件等の裁判により静岡で服役2年の刑期を終え、明治11年徳川慶喜に従って牧之原の地に入植。その時キリスト教の洗礼を受ける。やがて、入植者達は東京に戻るが、今井は農民として初倉に残る。箇所明治33年に友人の息子に「竜馬を斬ったのは自分だ」と語り竜馬暗殺の実行犯として浮上する。その後、明治39年には初倉村村長になり地元の発展に努め生涯を終える。

